

Cisco Catalyst メモリリークの脆弱性

severity アドバイザリーID : cisco-sa-20001206-catalyst-memleak
初公開日 : 2000-12-06 16:00
バージョン 1.3 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

スイッチへの一連の壊れる telnet認証試みは Catalyst スwitchの原因になる場合があります。トラフィックを通過させるか、またはシステムがリブートされるか、または電源の再投入が実行されたまで管理接続を許可しないために。telnet認証のすべての型は Kerberos 対応の Telnet および AAA認証を含んで影響を受けています。

この脆弱性は Cisco バグ ID CSCds66191 を割り当てられました。

完全なアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20001206-catalyst-memleak> で表示することができます。

該当製品

修正済みソフトウェア

脆弱性を含む製品は次のとおりです。

- 5.5(4) および 5.5(4a) までバージョン 4.5(2)を実行する Catalyst 4000 および 5000 イメージ。
- 5.5(4) および 5.5(4a) 以前でバージョン 5.3(1)CSX を、実行する Catalyst 6000 イメージ。
- バージョン 6.1(1)b および 6.1(2)は脆弱性のためのテストで影響を受けませんでした; ただし、コード修正は予防処置としてそれらのリリースに含まれていました。
- Catalyst 5000 シリーズ イメージは Catalyst 2901 で、2902、2926T、2926F、2926GL、2926GS 固定設定 シャーシ、および 5000、5002、5500、5505、および 5509 のモジュラーシャーシ スイッチ インストールされています。
- Catalyst 4000 シリーズは Catalyst 2948G で、2980G、4003、4006、および 4912G スイ

ッチ インストールされています。

- Catalyst 6000 シリーズは Catalyst 6009、6006、6509、6509-NEB および 6506 のモジュラーシャーシ スイッチでインストールされています。
- Catalyst 2900XL プラットフォームはこの脆弱性から影響を受けません。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco Catalystソフトウェアの他のリリースはこの脆弱性から影響を受けません。他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.3	2000- Decembe r-20	更新済該当製品リスト。
リビジョン 1.2	2000- Decembe r-11	詳細 セクションのスイッチのメモリを監視するのに使用することができる" show mbuf total " コマンドの追加された詳細。
リビジョン 1.1	2000- Decembe r-07	該当製品およびソフトウェア バージョン および 修正セクションの Catalyst ソフトウェア バージョン 6.1(1)b についての追加された情報および 6.1(2)。
リビジョン 1.0	2000- Decembe r-06	初回公開リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。